

	学校	運転手	介助員
地震発生	<ul style="list-style-type: none"> ・現在地確認。 ・人数と安否確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・急ブレーキをかけずに、ハンドルをしっかり握り、ハザードランプを点灯し、周囲の車両に注意を促しつつ、ゆっくりとスピードを落とす。 ・空き地か道路左側に停車し、ドアロックせず揺れがおさまるまで車内で待機。 ・カーラジオを付け、災害情報などを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に落ち着くような声掛け。 ・頭を下げ、体を丸めるよう指示。
ゆ れ が お さ ま る			
【運行可能な場合】	<p><学校対策本部の設置></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者への ・児童生徒等の引き渡し時間、場所等の決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行中は、安全を確認し、学校、警察、消防等の指示を受け走行する。 ・ラジオ等で常に災害の状況等を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の健康状態等を学校に連絡し、児童生徒を学校に送るか、各乗車バス停に送るか指示を受ける。 ・児童生徒が不安にならないような声掛け等を行う。
【運行不可能、即避難と判断する場合】	<p><学校対策本部の設置></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の出欠を、バスに乗車している児童生徒等を確認する。 ・スクールバスの停車位置を把握し、付近の避難場所を確認し、指示をする。 ・地図に停車位置や避難場所を記録し、スクールバスが移動した場合は、再度記録し、追跡する。 <p>○現場支援(救護等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車等で現地へ向かう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスが動くようなら、横道に逸れ、駐車可能な場所に停める(緊急車両等の妨げにならないように)。 ・周辺の避難可能な場所を確認し、バスごと避難可能な場所はバスごと避難し、バスごと避難することが不可能な場合は徒歩で避難する等、判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の健康状態等を学校に連絡し、指示を受ける。 ・児童生徒の体調に異変が生じた場合は、学校と協議の上、救急車の出動を要請する。道路寸断等で救急車が不可能な場合は、最寄りの医療機関に連携する。 ・現在地がどのような場所か、判断し、避難場所と避難方法を定める。 ・津波の危険性があるかどうか確認する。 ・避難方法について児童生徒に指示をする。

	<p>・物資の、受け入れ、最寄りの防災機関や医療機関等との交渉を行う。</p> <p>○保護者連絡</p> <p>・児童生徒等の引き渡し時間、場所等の決定し、保護者に連絡する。連絡がとれない場合は、避難場所で保護する。</p> <p><保護者への連絡></p> <p>・スクールバスの現在地、引き渡し時間と場所を連絡する。</p> <p>・引き渡し時に、危険が伴うと判断される場合は、その場に児童生徒と共に留まらせることを併せて連絡し理解を得ておく。</p> <p>・保護者と連絡がとれない場合は、学校または最寄りの避難場所で確保する。</p> <p><児童生徒引き渡し></p> <p>・児童生徒等の引き渡しの際は、引き渡しカードを発行する。</p> <p>・危険が伴うと判断した場合は、保護者と児童生徒を留まらせる。</p>	<p><徒歩で避難する場合></p> <p>・車両のキーはつけたまま、ドアロックをせずにバスから降りる。</p> <p>・連絡先メモを車内に残し、車検証を持って徒歩で避難。津波の危険がある場合は、高い場所へ避難する。</p> <p>・介助員と連携しながら、児童生徒の安全を確保しつつ避難場所に誘導する。</p> <p>・可能な限り、ラジオ等で災害の状況等情報収集を行う。</p> <p>・避難場所の状況を把握し、</p>	<p>・バスから降り、できるだけ児童生徒同士手を取り合っ て、隊列になって避難するよう支援する。</p> <p>・周辺に応援可能な人員がいないか確認し、必要なら 応援を要請する。</p> <p>・避難場所に到着したら、児童生徒の安否、健康状態を 確認し、必要な支援を行う。</p> <p>・状況を学校に伝え、指示を仰ぐ。</p>
--	--	--	--